

平成 26 年度東海北陸ブロック研修会の報告

日時：平成 26 年 9 月 13 日（土）10 時 30 分～15 時 30 分

会場：名古屋市総合社会福祉会館 大会議室、 参加者：92 名

東海北陸ブロック研修会式次第
あいさつ 近藤理事、朽木副会長
実践活動報告 座長 湯谷 石川県支部長
「地域包括ケアシステム構築と保健師の役割」在宅医療・介護連携推進の取り組み」
富山県支部 福井貴実子氏
「災害発生を想定した体制整備」平常時から の体制づくり」
静岡県支部 土屋厚子氏
研究報告
「ソーシャルキャピタルを醸成してみよう！」
全国保健師長会 西島知子氏
グループワーク 十五グループ
まとめ 朽木副会長、西島氏
閉会のことば 谷口 理事
司会 万田 名古屋市支部長



9 月 13 日は 3 連休の初日にもかかわらず、富山～静岡までの 8 支部から 92 名と多くの方が参加され楽しく交流し、かつ元気をもらった研修会となりました。

今年度初めて実践活動報告を取り入れた 1 日方式で開催しました。実践活動報告のテーマも「地域包括ケアシステム構築」と「災害発生を想定した体制整備」で、まさに時代のトレンドと参加者のニーズにあったものでした。発表の印象は動の福井さん、静の土屋さんでしたが、お 2 人の情熱に会場は圧倒されました。「地域包括ケアシステムの構築に市町村任せでなく、保健所もしっかり関与してかなくてはならないと思った」「災害の平常時からの備えは、人材育成・地域活動の集大成と感じた」などの感想があがりました。

午後からは、研究報告「ソーシャルキャピタル(以下 SC と略す)を醸成してみよう！」で始まり、わかりやすいご発表で「SC の醸成は訪問回数ではなく、事例を通して他機関との連携を図ったとか中味が大事とのことで本当にそう思いました」「内容も参考になりましたが報告者のパワーに感銘を受けました、保健師が SC を図るには、常に高い意識で業務に臨むことが大切であると学びました」との意見が聴かれました。

グループワークは、「統括保健師のあり方」「地区担当制」をテーマに 1 グループ 4～6 人と少人数で行いました。1 時間はあっという間でしたが「別組織のやり方を聞きとても参考になった」「午前中のハイレベルな実践活動報告を聴いてあせったけど、グループワークで癒されました」などの意見がありました。朽木副会長の最後のまとめでこれからの保健師長会の活動のあり方が再認識され、研修会は引き締められました。名古屋支部も愛知県支部、各支部長のご協力のもと今回の研修を無事開催でき、支部の結束が高まりました。

本部役員の方々、ご発表された方々、ご参加された方々、皆さま本当にありがとうございました。

記：東海北陸ブロック理事 近藤 あゆ子

